

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年4月1日

事業所名 音楽療育特化型事業所 リズムストーリー松原

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	毎回児童人数や個性を考慮し、適切な支援スペースを確保している。	療育中の安全面に考慮し個人利用可能なスペースを確保やクールダウンに適切な空間を柔軟に確保しています。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	日々の支援で加配の必要児童に担当職員を配置。	どの職員が休みの時でも対応できるよう人員を配置し、技術面でも常に練習・会議を行い対応しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	バリアフリー療育室にカーペットを敷き汚れや安全対策に配慮している。絵カードの設置を玄関、療育室ドア、トイレに設置しています。物を置く場所や準備の順番が可視化しています。	利用児童の特性に柔軟に対応工夫していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	午前午後療育後の消毒清掃をチェックシートで確認している。週に1度大掃除の徹底。荷物入れ、椅子の配置等児童に合わせている。	音楽を楽しみ清潔で心地よい空間を維持していきます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	管理者指導の下、PDCAサイクルを徹底し職員全員が参画できるように工夫している。	法人全体又事情所内での取り組みによりすべての職員が参画できるようにリモート会議も取り入れ工夫している。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	アンケート結果を周知し、改善点を通信簿に記載する等工夫している。	意向、意見等必ず周知し把握、意見交換を行いより良い支援に繋げていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	ホームページに公開している。改善点も連絡帳や通信簿で説明しています。	リズム通信(月会報)、連絡帳又送迎時での保護者様への報告をしています。アンケート結果につきましては当社ホームページにて掲載しております。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%	市役所、相談員の方々との面談、見学の際にアドバイスや評価をしていただき業務改善に繋がっています。	今後第三者による外部評価を行っていただき業務改善に繋げられるように検討中です。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	毎朝の朝礼と毎月2、3回1時間程度の社内研修を行い委員会を決め各自役割をもって研修している。	法人内ではリモート研修・会議も導入し、全職員が必ず参画しています。法人外研修にも更に積極的に参画出来るようにしていきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	必ず保護者様のニーズや課題に添った内容で支援会議を行い児童発達支援管理責任者が作成し説明をしています。	計画作成前と作成後で会議し支援内容の周知に努める。計画内容に沿った個人の支援記録記入に今後も努めます。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	松原市役所障害福祉課使用のツールを使用させていただいています。	標準化されたアセスメントツールを使用して適応行動の判断をされている子どもの情報は共有して支援に反映しています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	個々の子どもと保護者様に寄り添った支援内容となるように日々の支援内容の報告を共有し、必要な支援項目を選択し、適切かつ具体的に提示いたしております。	地域支援について交流が少ないためその機会を設けられるように改善に努めていくとともに、今まで以上に通所保育園保育所、幼稚園、こども園とのつながりを持ち相互共有を意識し支援に役立てていきます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	日々の支援記録記入時に計画を必ず確認して記入しています。全職員が支援内容を把握し、日々の出来事を共有しながら支援しています。	毎回職員間で支援内容について小さいと思えることも共有しています。又支援内容の確認を必ず児童発達管理者が指導しています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	毎月、毎週職員会議で意見を出し合い立案している。	PDCAサイクルに基づき立案している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	児童の様子、季節、流行、興味に合わせたプログラムを導入している。	新しいパネルシアターの作成、日々の会議で子どもの様子や興味のある話題等を共有している。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	音楽療育の中に適宜個別活動を組み合わせ支援し、その内容を連絡帳や伝言で保護者様に伝えている。	個人目標はもちろん社会生活に向けて自立共存していくように常に考え計画作成し、個々の特性に配慮した支援計画としています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	100%	0%	午前午後療育での支援内容、各職員役割分担、留意事項、送迎の確認を行っている。	予せぬ事(お漏らし、嘔吐、鼻血等)での対応も、職員全員が対応できるスキルを身に付けていく。
	18	100%	0%	毎日ヒヤリハットを記入しています。療育後振り返りをし、職員間で共有しています。不明点、疑問点が残らないように必ず話し合い明確にしています。	その日に話せない時や、周知必要な案件は必ずノートに記載し、伝達ミスが内容にしています。
	19	100%	0%	毎日個別支援記録を記載し、保護者様への支援内容は連絡帳で共有し記録しています。	支援内容を共有し日報にて確認を取り検証していく。支援内容の変更が必要な場合職員会議で決定します。
	20	100%	0%	常日ごろからモニタリングを行い、6ヶ月に1度の支援計画に反映しています。	モニタリング時期には必ず会議を行います。
関係機関や保護者との連携	21	100%	0%	児発管がサービス担当者会議に参画し、職員との話し合いでその子供の状況判断を行い、決定しています。	管理者の最終判断で最もふさわしい者が参画しているが、職員間で判断できるようにしていく。
	22	100%	0%	管理者が主に連携を取っています。必要に応じて市役所、相談支援事業所と連携を取っています。	管理者が職員への連携を行い情報共有し支援内容の統一を行います。個人情報に十分注意配慮します。
	23	100%	0%	看護士不在で医療行為が出来ないことをお伝えした上で保護者の了承を得て出来る必要な支援を行っています。	保護者様と関係機関(市役所、相談支援事業所、他事業所、支援学校、)との支援会議を6ヶ月に1回実施しております。
	24	100%	0%	子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている。	主治医とのやり取りや、文面等で連絡体制が取れるように手配済です。
	25	100%	0%	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	
	26	100%	0%	管理者の事前挨拶弊社/パンフレット必要であれば送迎者リスト(写真名前入り)の配布をしています。	保護者様のご意向により情報共有を図り、必要に応じて弊社より申し出ることもあります。職員間での注意事項の周知徹底を行っています。
	27	100%	0%	必要時常に連携を取り、研修や助言を受けています。	今後も積極的に研修や、助言を受けていきます。
	28	17%	83%	検討中です。	地域支援に繋がるような開かれた事業所を目指していきます。
	29	100%	0%	地域の子ども部会に参加しています。	今後管理者だけでなく、職員も積極的に参加していきます。
	30	100%	0%	連絡ノートでの共有を行い、重要事項に関しては電話や直接伝え共通理解を図っています。	今後も安心安全にご利用いただけるように、状況・課題の共有理解はもろろん小さな気付き(体調の変化や、心の様子)も見逃さず、音楽療育の優位性を保護者様と一緒に考えお子様が豊かに成長できる事業所を目指していきます。
	31	100%	0%	ペアレントトレーニングとしての支援には取り組めていませんが、保護者様、家族支援としまして、困りごとや相談事には随時対応いたしております。	定期的にペアレントトレーニングプログラムに取り組めるように検討していきます。
32	33%	67%	契約時に必ず管理者が説明を行い必要に応じて連絡簿等に記載し説明に漏れがないようにしています。	不明点がある場合電話や口頭で分かりやすくご説明しています。	
33	100%	0%	丁寧にご説明し、保護者様からの同意を必ず得ています。	コロナ禍が明け、対面でのモニタリング、アセスメント、を開催出来るようになり、個別支援計画に反映してほしいご要望やニーズを保護者様と一緒に、具体的な支援方法と合理的配慮を更に具体的に検討出来るようになりました。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	管理者を通じて常日頃から相談しやすい環境を醸成要望に沿った助言支援を行っています。	悩みや困りごとの相談が出来るやすい関係性の構築を心がけます。又、お申し出がございました時に随時面談の時間も設けています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	17%	83%	開催等模索中	保護者様の意向を考慮し地域支援に繋がるような事業所を目指していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	管理者を通じて迅速適切に対応できるようにご要望に沿った形で対応しています。	必要であれば迅速に会議を招集出来るようにしています。保護者様からの連絡については必ず周知しています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	月に1回リズスト通信を発行しプログラム内容や説明。お子様の様子をお伝えしています。	今後更に分かりやすく、避難訓練の様子や方法といった緊急時に備えた情報共有を発信していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	社内規約にも取り決めがあり、研修も全社員受けています。個人ファイルを作成しているため間違えない。SNSを利用していません。送迎表等厳重に保管しています。	保護者様にもご理解いただけるように更に詳しくどのように注意しているか等通信簿等で提示させていただきます。例(個人の携帯で必要に応じて写した写真等につきましては目的が終了後すべて削除し見学で来所時のお写真動画撮影一切ご遠慮いただいております。等)
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	視覚支援(絵カード)、声の大小、ジェスチャー、スキンシップ(手をさする、あしのマッサージ等)で配慮しています。	音楽療育で全体支援に取り組むとともに、個別に合理的配慮を行い意思疎通を行っています。スモールステップで段階を踏み音を感じ発語へのステップも配慮しています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	17%	83%	今後検討していきます。	地域支援に繋がるような開かれた事業所を目指していきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	保護者や関係機関への開示用マニュアルを設置しつつも確認出来るように工夫しています。月に2回以上の各委員会・研修を行い周知徹底しています。	緊急時の連絡体制、又訓練状況の周知と、保護者様への開示を分かりやすく実施いたします。各マニュアルの更新、策定を必須とし、職員間での情報共有を徹底いたします。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	年2回訓練を実施いたしました。(子どもと室内)(職員で実際の避難経路と役割分担の確認・外)	子ども達の安全確保、様々な状況下での避難経路、場所等について更に具体的に訓練実施していきます。防災グッズの中身の確認(賞味期限等)
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	契約時に聞きとりを行い状況確認できています。症状で気になることがあれば直ぐに保護者様と確認が取れるようにしています。	安全に配慮し、間違いが起きないように職員間で情報共有いたします。詳細な現時点での状況を都度確認していきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	その場で確認出来るように給仕室に掲示対応しています。	おやつや昼食時、職員間で必ずチェックし、チェックシートを活用し安全に対応いたします。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	毎日記入しています。些細な事も見過ごさない習慣を身に付けています。月に数回ヒヤリハットの案件を振り返り共有と研修を行っています。	全職員が共有できるように、休みの日のヒヤリハット報告書は必ず読むことが習慣化しています。一つ一つの案件を重く受け止め今後の支援に繋げていきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	虐待防止委員会を設置。マニュアル及び、指針を作成運用している。月1回ヒヤリハットをもとに社内研修を行い対応しています。	今後も研修を行い職員間で周知徹底していきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	身体拘束防止委員会を設置。月1回ヒヤリハットもとに社内研修を行い対応しています。マニュアル作成・運用している。必要性があれば保護者様と相談し支援計画に記載しています。	今後も研修を行い全職員に周知徹底していきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。